

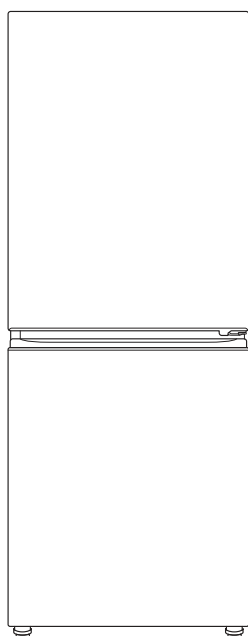


家庭用
修理区分：出張

取扱説明書

ノンフロン2ドア冷凍冷蔵庫
保証書付（裏表紙）

ANGL-REI160-A



この度は、e angle ノンフロン 2 ドア冷凍冷蔵庫を
お買い上げいただき
まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき
正しいご使用をお願いいたします。
また、この取扱説明書はいつでも見る事ができる所に
保管してください。

この製品は日本国内用に設計されていますので、
日本国外では使用できません。
この取扱説明書の内容は改善のため、
予告なく変更することがあります。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

もくじ

安全上のご注意	2
設置と準備	4
使用上のお願い	6
各部のなまえ	7
使い方	8
お手入れ	10
こんなときは	12
故障かな？と思ったら	13
仕様	14
アフターサービス	15
ご相談窓口・修理窓口のご案内	15
お問い合わせ先	15
保証書	裏表紙

安全上のご注意

人への危害や財産の損害を防ぐために、必ずお守りください。

危害や損害の程度による区分

 警告	死亡や重傷のおそれがある内容です。
 注意	軽傷や財産の損害のおそれがある内容です。

お守りいただく内容の種類による区分

	してはいけない内容です。
	必ず行う内容です。

警告

電源コード・電源プラグ

-  電源コードが傷ついたり変形するようなことをしない
・例：無理に曲げる、ねじる、引っ張る、束ねたまま使用する、重いものをのせる、熱器具に近づける。
火災・感電の原因になります。

電源プラグは根元まで差し込み、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

火災・感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電・けがの原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100V 以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱し、発火・感電の原因になります。

電源プラグを本体の背面で壁などに押し付けない

火災・感電の原因になります。

電源プラグを抜いたときは、すぐに差し込み直さない

※電源プラグを抜いたりプリーカーが切れたときは、6 分以上待って差し込んでください。

圧縮機に負担がかかって故障の原因になります。

使用時・持ち運び時に、電源コードを引っ張らない

断線して、ショートなどによる感電・火災や故障の原因になります。

電源コードを本体や他の機器などにはさまない

断線して、ショートなどによる感電・火災や故障の原因になります。

電源コードを本体に巻き付けない

電源コードの発火や故障の原因になります。

-  電源プラグのほこりなどは定期的に取り除き、コンセントに差し込むときは金属などをはさまないようにする

湿気などで絶縁不良になると、火災・故障の原因になります。

お手入れ時は電源プラグを抜く

感電の原因になります。

次の場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店または家電の 119 番に相談する

・電源プラグや電源コードが異常に熱くなる、電源コードに深い傷・変形がある、こげくさいにおいや煙が出る、異常な音・振動がする、電源コードを動かすと通電したりしなかったりする、ドアの開閉時に異常（摩耗による粉が出たり異音がするなど）がある。

※傷んだ電源コード・電源プラグは、交換・分解・修理・改造をしないでください。

-  長期間使用しないときは、電源プラグを抜く
絶縁劣化による感電・漏電火災・けがの原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードではなく電源プラグを持つ
感電や、ショートなどによる火災の原因になります。

設置時

-  屋外や水がかかる所に設置しない
絶縁不良による漏電や、冷媒が漏れて滞留すると発火・爆発の原因になります。

-  本体の周囲にすき間をあける
冷媒が漏れて滞留すると、発火・爆発の原因になります。

丈夫で水平な床に設置する

ドア開閉時に本体が倒れると、けがの原因になります。

地震に備え、転倒防止処置をする

本体が倒れると、けがの原因になります。

湿気が多い所や水気のある所への設置時は、アースと漏電遮断器の取り付けをお買い上げの販売店に相談する

漏電による感電の原因になります。

※工事費は、本製品の価格に含まれません。

使用時

-  分解・修理・改造はしない
発火や、異常動作によるけがの原因になります。

庫内のお手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤を使用しない

庫内に洗剤が残ると有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。

本体や庫内に水をかけない

ショートによる火災・感電の原因になります。

ドアにぶら下がったり、ドアや本体に乗ったり、上面テーブルに不安定なものを置いたりしない

けがの原因になります。

庫内に揮発性・引火性のものを入れない

・例：接着剤、エーテル、ベンジン、LP ガス、工業用アルコール、ライターのパンペ。

引火・爆発の原因になります。

医薬品・学術試料を入れない

※家庭用冷蔵庫では、厳しい温度管理が必要なものは保存できません。

警告

使用時



脱臭器や霜取りを速くするような電気製品を入れない

冷媒が漏れると、電気製品の接点の火花で着火し、爆発の原因になります。
製造業者が推薦するもの以外の、霜取りを速めるための機械的な器具、およびその他の手段を用いないでください。

近くで可燃性スプレーを使用しない

感電・引火・爆発の原因になります。

都市ガスなどのガスが漏れたときは、本体や電源プラグに触れたりドアを開けたりしない

感電・引火・爆発の原因になります。
※ガス漏れ時は、ガスの元栓を閉め、窓を開けて換気してください。

庫内に霜がついたときは、刃物・アイスピックなどの鋭利な金属で取らない

発火・爆発・けがの原因になります。
※庫内壁面の内部には、冷却器があります。
※万一、庫内壁面を傷つけた場合は、窓を開けて換気し、販売店または家電の119番に相談してください。

開口部やすき間に、ピンや針金などの金属、指などの異物を入れない

内部に触れると、感電・けがなどの原因になります。



本体背面内部の冷却回路・配管を傷つけない

冷却回路や配管には可燃性冷媒を使用しているため、感電・引火・爆発や、ショートによる火災・感電の原因になります。
※万一、傷つけた場合は、窓を開けて換気し、販売店または家電の119番に相談してください。



子供が本製品で遊ばないように注意する、お年寄りや皮膚感覚の弱い方の使用時は、周りの人が注意する(本製品は安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で機器を用いることを意図しておりません)

事故・けがの原因になります。

液体の入った容器は、ふたを閉める

こぼれると、絶縁不良による火災の原因になります。

リサイクル・廃棄時



リサイクル時は、ドアパッキンを外す

幼児が閉じ込められる原因になります。

廃棄時は、販売店や自治体に引き渡す

放置すると、冷媒漏れによる発火・爆発の原因になります。

注意

ドア開閉時



冷凍室ドアの開閉時、足をドアに近づけすぎない

けがの原因になります。

ドアを強く開け閉めしない

食品の落下による、けがの原因になります。

冷蔵室ドアの取っ手に手をかけたまま、冷凍室ドアを開け閉めしない

けがの原因になります。

ほかの人が本体に触れているときは、ドアを開け閉めしない

けがの原因になります。



ドアは取っ手を持って開け閉めする

指をはさむ原因になります。

ドアはすき間ができないように閉める

結露や霜取りで出た水が、床に落ちる原因になります。

設置・移動時



傷つきやすい床(じゅうたん・畳・塩化ビニール製など)に設置するときは、保護用の丈夫な板を敷く
熱などによる床の傷つき・変色・変形の原因になります。

運搬時は、下部前脚と背面上部を確実に持つ

手がすべって、けがの原因になります。

使用時



冷凍室にビン類や缶類を入れない

中身が凍って膨張したり、割れて飛び散る原因になります。

冷気吹出口の近くに、水気の多い食品や野菜を置かない

凍ったり、缶ビール・ノンアルコール飲料・炭酸飲料などは凍って破裂する原因になります。

棚より前にはみ出すように物を置かない、ドアのポケットに入りきらないものは入れない

落下すると、破損・けがの原因になります。

ぬれた手で、冷凍室の食品・容器(特に金属製)・氷に触れない

手が離れなくなり、凍傷・けがの原因になります。

異臭がしたり変色した食品は食べない

病気の原因になります。

本体底面の下や背面の機械部に手足を入れたり、圧縮機や配管に触れない

鉄板の端面や発熱部、部品に触れると、やけど・けがの原因になります。

※特に、幼児にはご注意ください。



ペットに気をつけて使用する

本体や電源コードを傷めると、火災の原因になります。

設置と準備

1 設置する

次のような場所に設置してください。

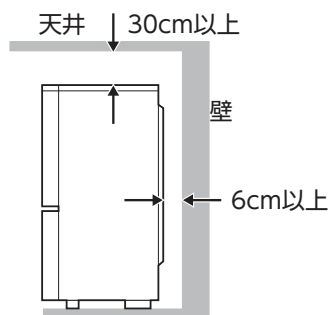
- 熱気・直射日光の当たらない所
- 発熱器具が近くにない所
- 湿気がなく、風通しのよい所
- しっかりと安定した、水平な所
- 電源プラグのお手入れがしやすい所
- テレビ・ラジオなどの機器から離れた所
(映像の乱れや雑音の防止のため)
- 下図の放熱スペースを確保できる所

⚠ 注意

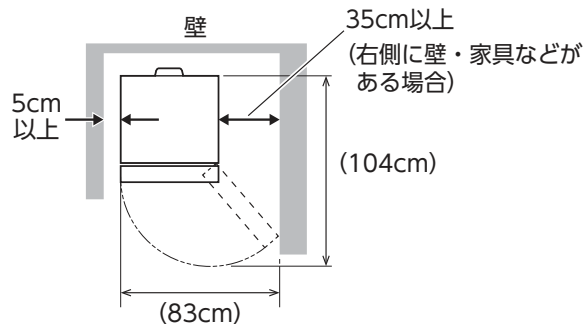
傷つきやすい床(じゅうたん・畳・塩化ビニール製など)に設置するときは、保護用の丈夫な板を敷く

熱などによる床の傷つき・変色・変形の原因になります。

横から見た図

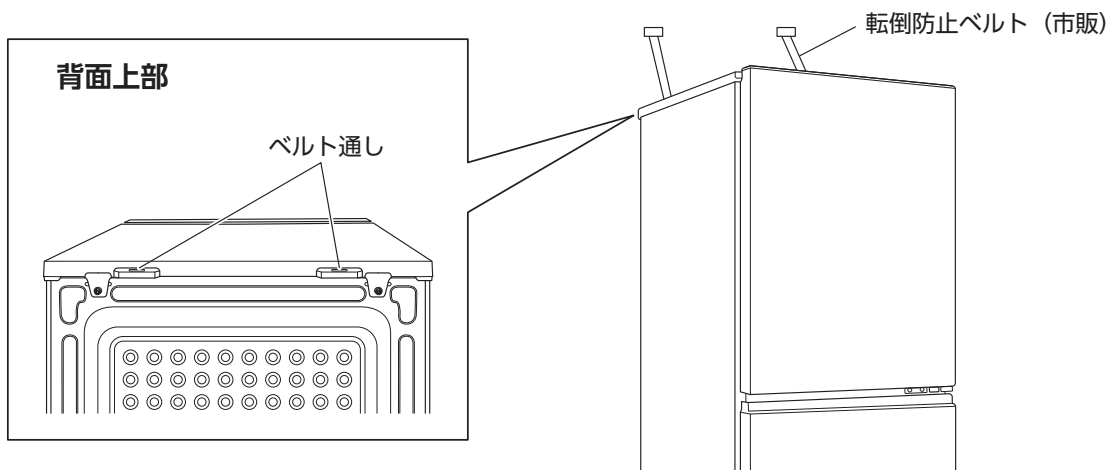


上から見た図



2 市販の転倒防止ベルトで、丈夫な壁や柱に固定する

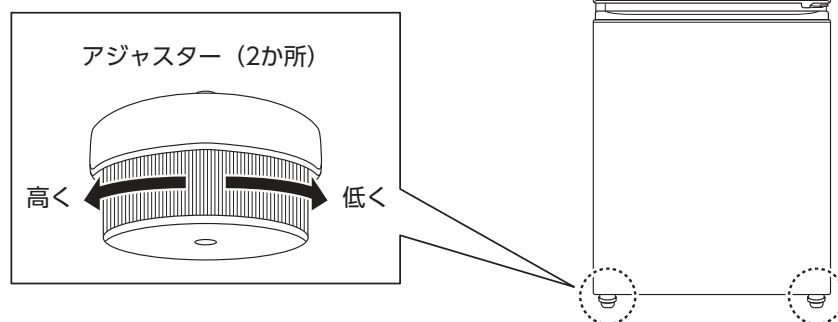
地震などで倒れないように、市販の転倒防止ベルトを本体背面のベルト通しに通して、壁などに固定してください。



3 左右の高さを調節して、 水平にする

アジャスターを回して、
調節してください。

●約 5mm まで調節できます。



4 緩衝材、付属品の固定テープ、保護フィルムを外す

5 庫内をお手入れする

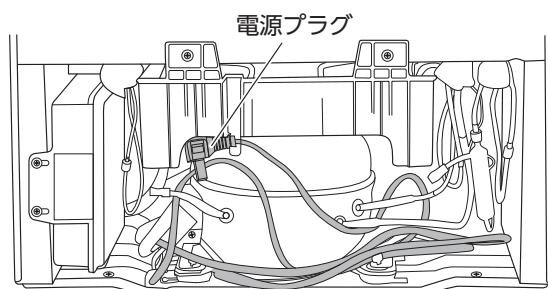
①固く絞ったぬれぶきんで、汚れをふき取る

②からぶきで、水分をふき取る

●製氷皿と製氷ボックスは、台所用中性洗剤を使用して洗ってください。

6 設置後 1 ～ 2 時間たったら、電源プラグをコンセントに 差し込む

- 配送の状態により冷媒が不安定になっている場合があり、冷却機能に影響が出ることがあります。
- 庫内が冷えるまで約 4 時間かかります。(夏場などは、24 時間以上かかることもあります)



設置と準備 つづき

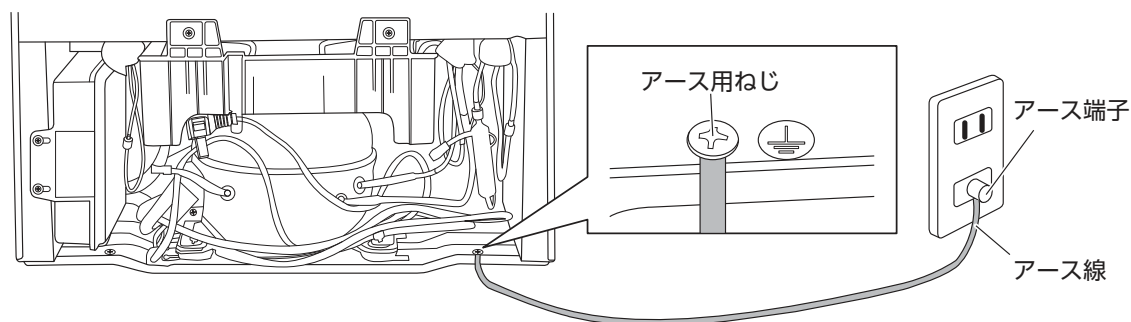
アースについて

万一の感電事故防止のため、
アース（接地）をおすすめします。

（本製品にアース線は付属していません）

- アース線をアース用ねじ（本体背面下部）とコンセントのアース端子に接続してください。
- アース端子がない場合は、お買い上げの販売店にD種接地工事（有料）を依頼してください。
- 湿気の多い所や水気のある所で使用するときは、アース（接地）に加えて漏電遮断器の設置が義務付けられています。お買い上げの販売店に相談してください。

背面下部



警告

湿気の多い所や水気のある所への設置時は、アースと漏電遮断器の取り付けをお買い上げの販売店に相談する
漏電による感電の原因になります。
※工事費は、本製品の価格に含まれません。

アース線は、水道管・電話線・避雷針のアース線・ガス管に取り付けない

水道管：配管にプラスチックが使用されているため、アースになりません。

電話線・避雷針のアース線：落雷時、危険です。

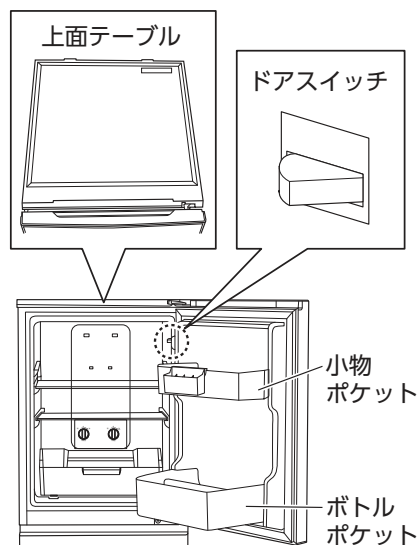
ガス管：爆発・引火の原因になります。

使用上のお願い

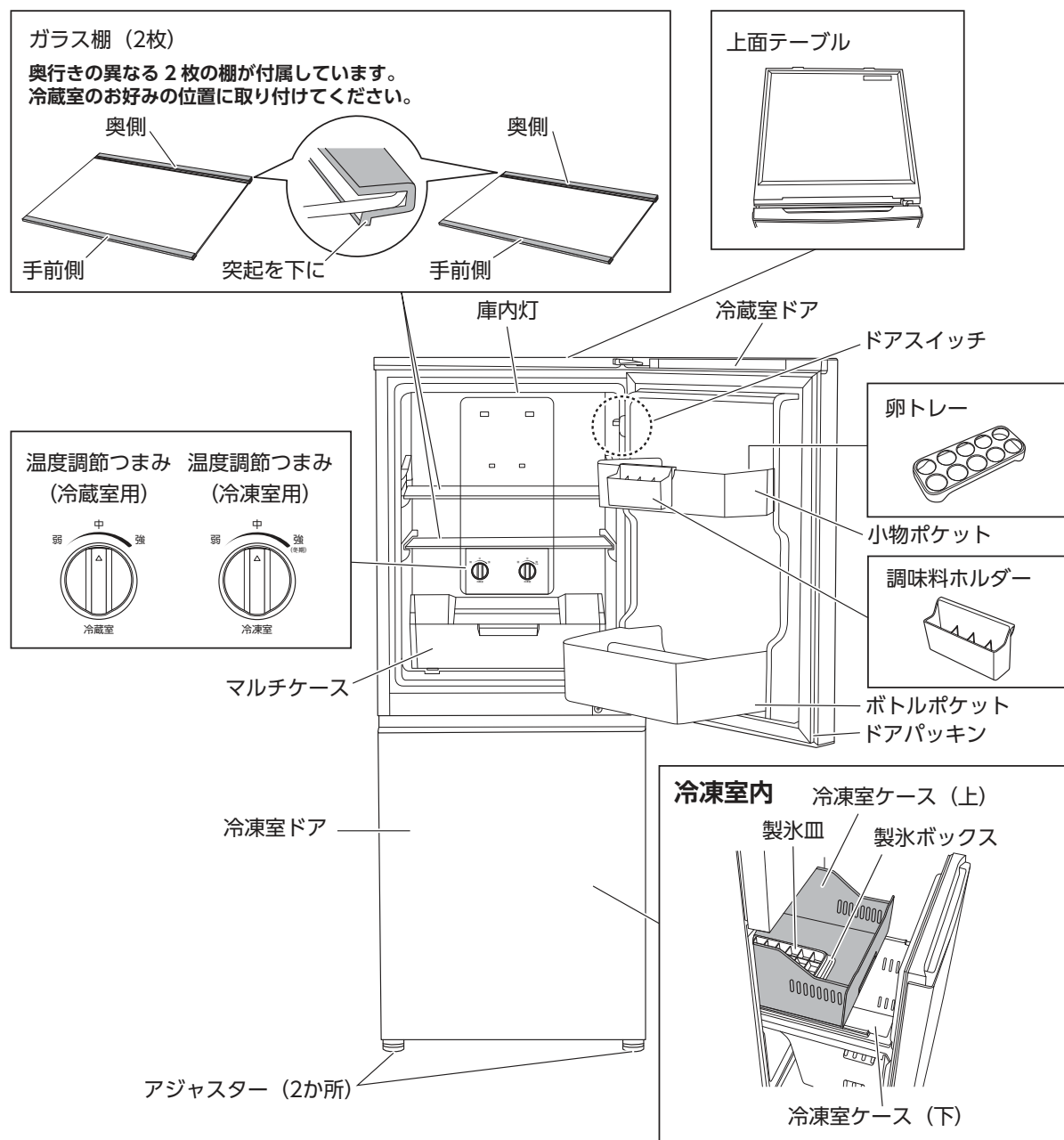
- 本製品は家庭用の製品として設計・開発したものです。業務用には使用しないでください。
- ドアスイッチに、食品・小物ポケット・ボトルポケットなどを当てないでください。
ドアスイッチが破損する原因になります。
- 本製品やこん包材を廃棄するときは、お住まいの自治体のルールに従ってください。

上面テーブルに物をのせるとき

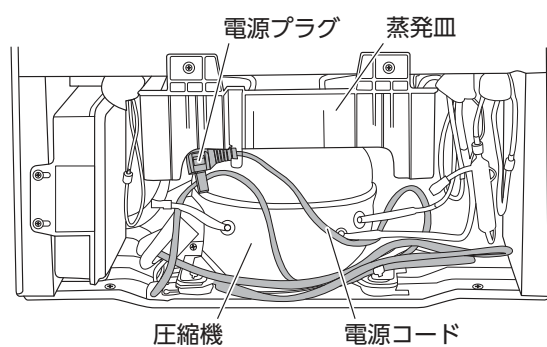
- 外側が 100℃を超えることがあるもの（オーブントースターなど）をのせて使用しないでください。上面テーブルの耐熱温度は 100℃のため、変形・変色の原因になります。
- 電子レンジなどをのせて使用する場合は、電子レンジなどの取扱説明書に記載の設置条件（放熱スペースなど）や安全上のご注意、使用上のご注意を確認してください。（脚と脚の間の外形寸法が幅 430×奥行き 400mm 以内のものがのせられます）
- 耐荷重は 30kg です。合計 30kg を超えるものは、のせないでください。
- 上面テーブルの隅には、物をのせないでください。



各部のなまえ



背面下部



使い方

- 使い始めは、ドアを開けたときに構造材などのおいがすることがありますが、ご使用につれて消えていきます。
- 使い始めは、圧縮機の音が若干大きくなります。
- 野菜や果物、においの強いものは、ラップをしてください。
- かんきつ類の果物を、カットしたり皮をむいた状態で保存するときは、ラップやポリ袋に包んでください。包まずに棚・ケース・ポケットなどに置くと、かんきつ類の精油成分によりプラスチックが変色することがあります。
- 塩気の強い食品は、ラップやポリ袋で包むか密閉容器に入れてください。

⚠ 注意

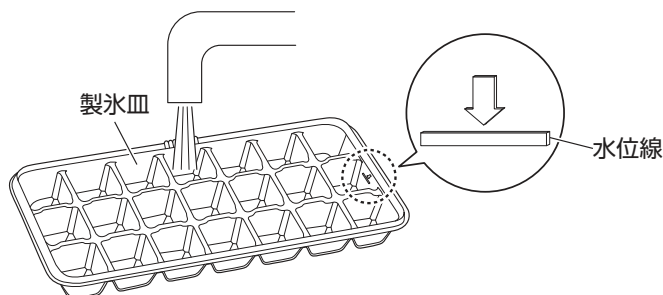
冷気吹出口の近くに、水気の多い食品や野菜を置かない
凍ったり、缶ビール・ノンアルコール飲料・炭酸飲料などは凍って破裂する原因になります。

氷を作る

- 製氷皿はプラスチック製のため、通常よりも製氷時間が長くなります。
(時間は使用状況によっても変動します)

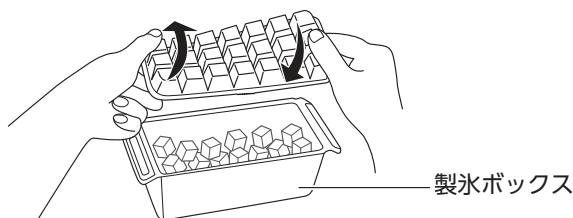
1 製氷皿に水を入れ、冷凍室ケース（上）に置く

- 水位線を目安に、水を入れてください。



2 氷ができたら、製氷皿を軽くねじって、氷を製氷ボックスに入れる

- 製氷皿をねじっても氷が外れないときは、水やぬるま湯をかけて外してください。



自動霜取り

本製品では自動的に霜取りが行われます。食品を取り出す必要もありません。

- 霜取りで出た水は、蒸発皿（本体背面下部）にたまって自然に蒸発します。

温度を調節する

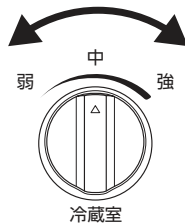
庫内の温度を調節するときは、冷蔵室にある温度調節つまみで設定を変更してください。

- 通常は「中」の設定でご使用ください。
- 表に記載している庫内の温度は、本体の周囲温度が約 32℃で食品を入れずにドアを閉め、温度が安定したときの目安です。食品の収納状態やドアの開閉頻度、本体の周囲温度により変動することがあります。

■冷蔵室の温度を調節するとき

温度調節つまみ（冷蔵室用）で弱・中・強を切り替えます。

- 冷凍室を含めた庫内全体の冷え方を調節するため、冷凍室の温度も一緒に変動します。

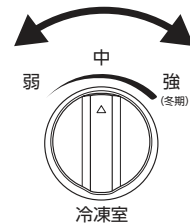


設定	冷蔵室の温度（目安）
弱	「中」より 2～3℃高い
中	約 2～6℃（通常時）
強	「中」より 2～3℃低い

■冷凍室の温度を調節するとき

温度調節つまみ（冷凍室用）で弱・中・強を切り替えます。

- 冷凍室に送る冷気の割合を調節します。

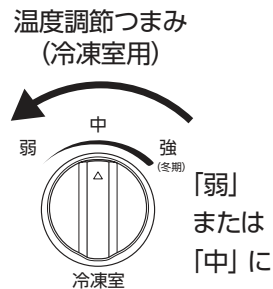


設定	冷凍室の温度（目安）
弱	「中」より 2～3℃高い
中	約 -18～-22℃（通常時）
強（冬期）	「中」より 2～3℃低い

夏場など、「強」に設定してもあまり冷えないとき

温度調節つまみ（冷凍室用）を設定中の位置より弱くしてください。冷気がより多く冷蔵室に送られます。

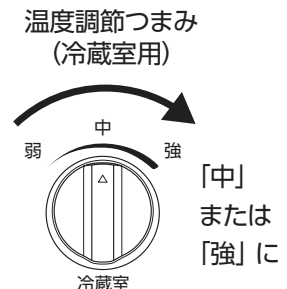
- 季節の変わり目には、「中」に戻してください。



冬場など、「強」に設定してもあまり冷えないとき

温度調節つまみ（冷蔵室用）を設定中の位置より強くしてください。庫内全体の冷え方が強くなり、冷凍室も冷えます。

- 季節の変わり目には、「中」に戻してください。



冷蔵室の食品が凍るとき

冷蔵室の温度設定を弱くしても改善されない場合は、次のようにしてください。

本体の周囲温度が 5℃以下の場合

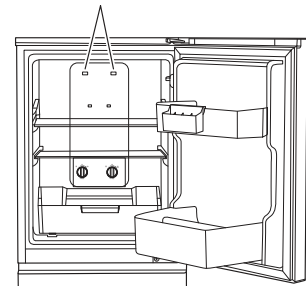
温度調節つまみ（冷蔵室用）を「弱」に設定してください。

- 温度調節つまみ（冷凍室用）を「強」に設定することでも対応可能です。（冷凍室に送る冷気の割合が増えるため、冷蔵室が冷えにくくなります）

水分の多い食品を棚の奥に置いている場合

棚の奥は冷気吹出口に近く、冷えやすいため、豆腐・野菜・果物など水分の多い食品は棚の手前に置いてください。

冷気吹出口（4か所）



お手入れ

汚れたら、すぐにお手入れしてください

汚れを放置すると、冷気で固まって取れにくくなります。

- 油脂類（食用油・バターなど）がついたままにすると、プラスチックのひび割れの原因になります。
- かんきつ類の果物の汁などがついたままにすると、変色の原因になります。
- ドアパッキンは汚れると傷みやすくなり、冷気が漏れる原因になります。



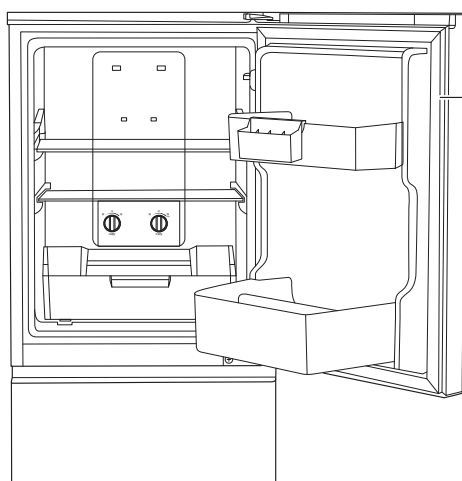
警告

お手入れ時は電源プラグを抜く

感電の原因になります。

※お手入れ後は、電源プラグを抜いてから6分以上待って差し込んでください。

圧縮機に負担がかかって故障の原因になります。



ドアパッキン

お手入れのしかた

水で薄めた台所用中性洗剤を布に含ませ、固く絞って汚れをふき取ってください。

庫内表面・小物ポケット・ボトルポケット

汚れや汁がたまったら、ふき取ってください。

取り外せる部品の汚れがひどいとき

ガラス棚、ケース類、ポケット類、製氷皿などの取り外せる部品は、台所用中性洗剤を使用して洗うこともできます。

蒸発皿（背面下部）

定期的を確認し、水がたまっている場合はぞうきんなどで吸い取ってください。

（汚れるとほこりなどがたまり、結露や霜取りによって出た水が蒸発せずにあふれて床にこぼれることがあるため）

次のものは使用しないでください

表面の傷み、プラスチック部の変形・傷つき・割れを防ぐために、使用しないでください。

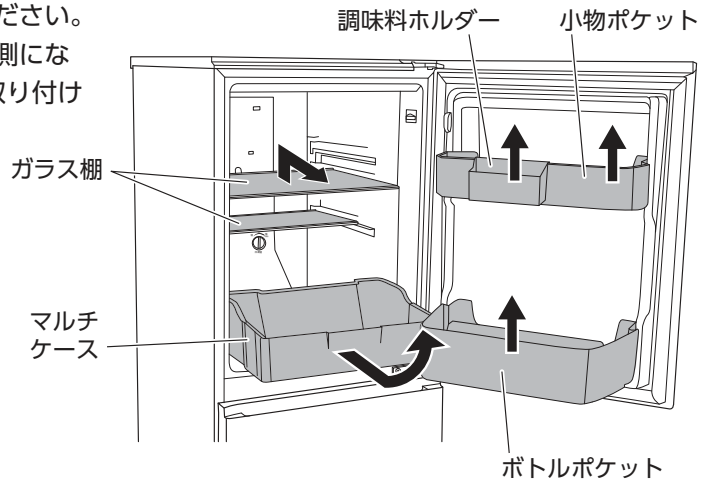
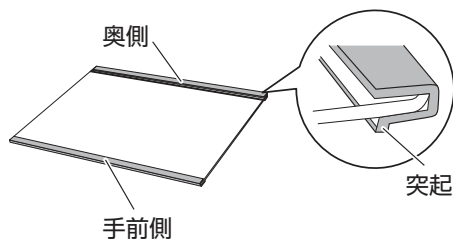
- アルコール・シンナー・ベンジン
- たわし・ナイロンたわし
- みがき粉・粉せっけん
- アルカリ性・弱アルカリ性の洗剤
- 熱湯（60℃以上）
- その他、樹脂を傷めるおそれのあるもの

部品の取り外し方

ガラス棚

奥側を軽く持ち上げてから、引き出してください。

- 取り付けるときは、突起が棚の奥側の下側になるようにしてください。(誤った向きに取り付けると、棚が固定されません)



マルチケース

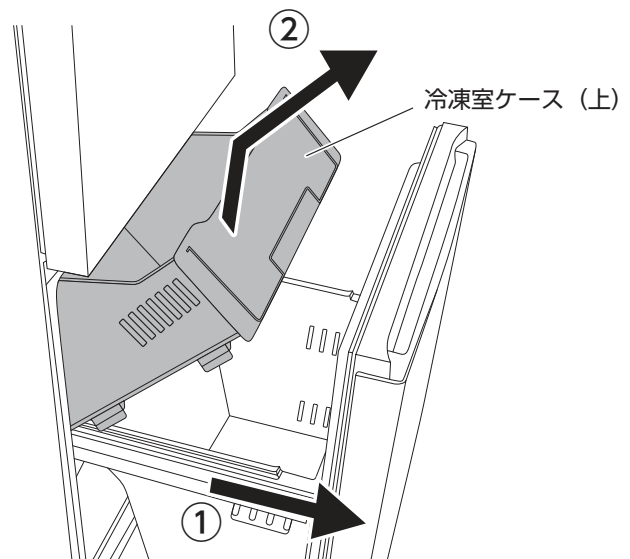
引き出して、手前を持ち上げながら外してください。

小物ポケット・ボトルポケット・調味料ホルダー

両端を持って、引き上げて外してください。

冷凍室ケース (上)

冷凍室ドアを止まる所まで引き出し、ケースを引き上げて外してください。



こんなときは

電源プラグを抜いたときやブレーカーが切れたとき	●6分以上待ってから、電源プラグを差し込み直してください。 すぐに差し込むと、圧縮機に負担がかかって故障の原因になります。
停電したとき	●ドアを開け閉めする回数を減らし、食品を新たに追加しないようにしてください。 ●事前に停電の予告があった場合は、停電前に氷をたくさん作っておき、停電したら氷を容器に入れて冷蔵庫に置いておくと、冷蔵庫の食品の温度が上がるのを軽減できます。
長期間使用しないとき	●食品をすべて取り出してから電源プラグを抜き、庫内をお手入れしてください。お手入れ後は2～3日、ドアを開けて乾燥させてください。(かび・においの防止)
移動・運搬するとき	●必ず2人以上で行ってください。 ●横積みや上下逆積み輸送はしないでください。機械部（圧縮機など）の故障の原因になります。 ●事前に、次の準備を行ってください。 ①食品、製氷皿の水、氷を取り出す ②電源プラグを抜き、アース線を外す ・蒸発皿（背面下部）に水がたまっているときは、ぞうきんなどで吸い取ってください。 ③庫内についた水滴をふき取る ④アジャスター（前面下部）を回して、一番上まで上げる（P.5） ⑤転倒防止ベルトを外す
廃棄・リサイクルするとき	●廃棄・リサイクル前の保管時は、ドアパッキンを外してください。  警告 リサイクル時は、ドアパッキンを外す 幼児が閉じ込められる原因になります。 ●家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化などの料金をお支払いいただき、対象商品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の内容をまずご確認ください。

症状	ご確認ください内容
まったく冷えない	●使い始めは、庫内が冷えるまで約 4 時間かかります。 (夏場などは、24 時間以上かかることもあります) ●電源プラグが抜けていませんか？ブレーカーが切れていませんか？ ●いったん電源プラグを抜き、6 分以上たってから差し込み直してみてください。
あまり冷えない	●本体に直射日光が当たっていませんか？近くに発熱器具がありませんか？ ●本体の周囲に放熱スペースがあいていますか？ (P.4) ●ドアを頻繁に開け閉めしていませんか？ ●ドアは確実に閉まっていますか？ ●食品を詰め込んでいませんか？ ●熱いものを入れていませんか？ ●温度調節つまみの設定が弱くなっていませんか？ (P.9)
音がうるさい、 気になる音がする	●使い始めや夏場、庫内の冷却のために圧縮機が運転しているときは、運転音が大きくなります。 ●しっかりと安定した水平な床に、がたつかないように設置していますか？ ●本体の周囲に落ちたものが振動していませんか？ ●「ボコボコ」「ピチピチ、カチカチ」という音は、冷却装置を冷媒（ガス）が流れる音です。 ●「ピシッ、パシッ」という音は、冷却運転によって庫内が収縮したり膨張したりする音です。 ●「キーン、シャリシャリ」という音は、庫内の冷却のために圧縮機が運転している音です。 ●本体が壁に当たっていませんか？
庫内灯がつかない	●故障の可能性があります。販売店または家電の 119 番に相談してください。
水が漏れる	●電源プラグをしっかりと差し込んでいますか？ ●ドアは確実に閉まっていますか？ ●ドアパッキンが汚れたり傷んでいませんか？
冷蔵室の食品が 凍る	●温度調節つまみ（冷蔵室用）を「強」に設定していませんか？ (P.9) ●本体の周囲温度が 5℃以下になっていませんか？ (P.9) ●水分の多い食品を棚の奥に置いていませんか？ (P.9)
庫内がにおう	●においの強いものは、ラップなどで密閉していますか？ ●庫内ににおいが付着した可能性があります。やわらかい布をぬるま湯に浸し、固く絞ってふいてください。
庫内に霜がつく、 結露する	●湿度が高いときや、ドアを開けたままにしたり頻繁に開け閉めしたときに起こることがあります。 ●熱いものや水分の多いものは、ラップなどで包んでいますか？ ●ドアパッキンが汚れたり傷んでいませんか？
本体の外側に 霜がつく	●梅雨時など湿度が高いときは、霜がつくことがあります。 布でふき取ってください。
本体側面の外側が 熱い	●結露を防止するために、本体内部の放熱パイプから熱が出ているためです。 使い始めや夏場は特に熱くなります。

仕様

種類		冷凍冷蔵庫
定格内容積	全定格内容積	160L
	冷蔵室	99L 〈80L〉
	冷凍室	61L 〈46L〉
外形寸法（約）		幅486×奥行き600×高さ1271mm
電源コードの長さ（約）		2.2m
質量（約）		40kg
定格電圧		交流 100V
定格周波数		50Hz／60Hz 共用
電動機の定格消費電力		55W(50Hz／60Hz)
電熱装置の定格消費電力		120W(50Hz／60Hz)
消費電力量		257kWh／年(50Hz／60Hz)
原産国		中国

- 定格内容積は、日本産業規格（JIS C 9801-3:2015）に基づき、庫内の温度制御に必要でない庫内部品（棚・ケースなど）を外した状態で算出したものです。
- 貯蔵室ごと（冷蔵室、冷凍室）に定格内容積と併せて食品収納スペース（貯蔵室ごとの実際に食品を収納することができる空間の容積）の目安を <> で表示しています。
- 消費電力量は、日本産業規格（JIS C 9801-3:2015）で決められた測定方法・計算方法において表示しています。
- 本製品の仕様や外観などは、製品改良のために予告なく変更される場合があります。

冷凍室の性能

本製品の冷凍室の性能は、

※***（フォースター）です。

- 日本産業規格（JIS C 9607）に定められた方法で試験したときの、冷凍室内の冷凍負荷温度（食品温度）によって表示しています。
- 冷凍食品の保存期間は、食品の種類、店頭での保存状態、本製品の使用条件などによって異なります。表は一応の目安です。

記号	※*** フォースター
冷凍負荷温度(食品温度)	−18℃以下
冷凍食品の保存期間の目安	約3か月

アフターサービス

修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(P.13)をご確認ください。それでも異常があるときは使用を中止し、電源プラグを抜いてください。
- 本製品と保証書・お買い上げレシートを準備し、下記のお問い合わせ先から販売店にお問い合わせください。

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 お客様のご依頼により、本製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。※出張修理の場合のみ

保証書

保証書は記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

《保証期間中》

保証書の内容に従って修理いたします。

《保証期間が過ぎている場合》

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
※場合によっては修理できない場合もございます。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の製造打ち切り後、9年間保有しております。

※補修用性能部品とは、本製品の性能を維持するために必要な部品です。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取り扱い・修理に関しては販売店へご相談ください。

※販売店にご依頼できない場合(ご転居やご贈答品など)は下記の各お問い合わせ先にご相談・お問い合わせください

お客様の個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいたお客様の個人情報は、ご意見・ご質問への回答および弊社のお客様サービス向上のために利用させていただきます。ご質問の内容によりましては、適切な回答のためエディオングループ、および関係会社に情報を提供する場合もございます。その他、ご提供いただいたお客様の個人情報はエディオングループ個人情報保護方針に基づいてお取り扱いいたします。

エディオングループ個人情報保護方針 <https://www.edion.co.jp/privacy>

お問い合わせ先

～本製品に関するお問い合わせ～ エディオンお客さま相談センター



受付時間：月曜日～金曜日
9:30～18:30 (土日祝・年末年始除く)

0570-07-0557

有料

※番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いいたします。※電話番号・受付時間等につきましては、変更になる場合がございます。

(2026年2月時点)

～修理に関するお問い合わせ～ 家電の119番



受付時間：月曜日～日曜日
9:00～19:00 (年中無休)

0570-06-0119

有料

※年末年始に関しては受付時間が変更となる場合がございます。※番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いいたします。※電話番号・受付時間等につきましては、変更になる場合がございます。

(2026年2月時点)



愛情点検

●長年ご使用の冷凍冷蔵庫の点検を！



こんな症状はありませんか

- 電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。
- 電源コードに深い傷・変形がある。
- こげくさいにおいや煙が出る。
- 異常な音・振動がする。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- ドアの開閉時に異常(摩耗による粉が出たり異常な音があるなど)がある。
- その他の異常や故障がある。

ご使用
中止

事故の防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。